

## 4. その他

### 4-1 湧水処理

- 盛土予定区域で地山谷部の湧水(水みち)が想定される場合は、盛土の事前処理として谷部の最深部に湧水処理を行うこと(盛土部暗渠)
- 区画整理ほ場において、隣接地からの浸透水(湧水)による過湿が懸念される場合は、湧水処理を検討すること(ほ場内湧水処理)
- 盛土法面の小段についても必要に応じて湧水処理を検討すること(ほ場外湧水処理)



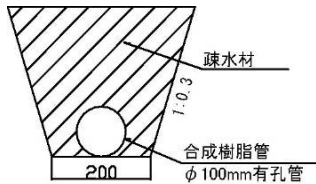
#### \* 湧水処理の基本事項

- 有孔管の最低径は100mmとする。(オホーツク総合振興局管内適用設計・積算の手引き農地P5「暗渠排水(設計・積算)2. より)
- 床幅について  
湧水処理は、現場条件に合わせた管径と床幅とし、最低値を次のとおりとする。
  - ・管径100mmの場合には、床幅200mm以上  
(暗渠排水設計指針H14.4 4-3-2の1、技術資料15より)
  - ・管径200mmの場合には、床幅300mm以上  
(オホーツク総合振興局管内適用設計・積算の手引き農地P5「暗渠排水(設計・積算)6. より)
- 盛土部暗渠(盛土となる地山谷部の湧水処理→谷部の最深部に設置)
- ほ場内湧水処理(通常の暗渠排水と同様の定規・疎水材)
- ほ場外湧水処理(盛土部暗渠に準じる。疎水材は80mm級碎石・砂利等を基盤面まで投入)

#### \* 通常の暗渠排水とは

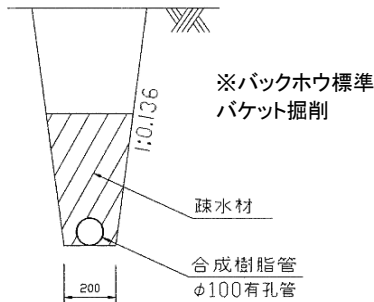
- ・最低径100mmのとき、床幅200mm(φ200mm～は床幅300mm)
- ・疎水材(火山礫・ホタテ貝殻・チップ等)
- ・表土直下まで疎水材投入。

○盛土部暗渠



(農道設計指針 遮断式暗渠工を元としている。)

○ほ場内湧水処理(通常の暗渠排水と同様)



土地改良事業計画指針 農地開発(改良山成畑工)(H4.5 P79)

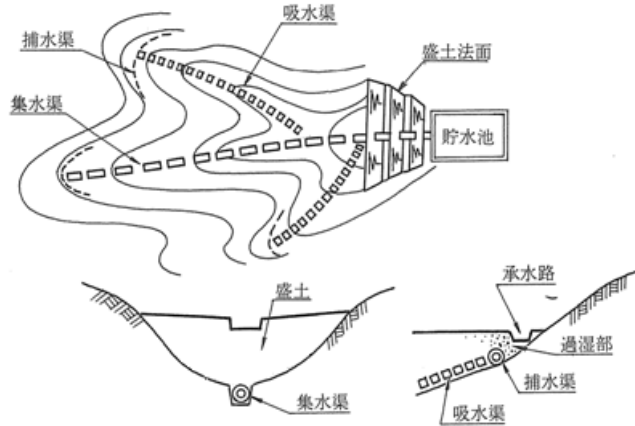
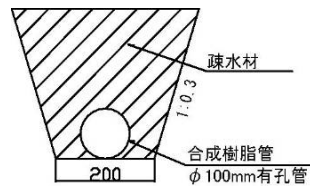


図-3.11.4 盛土部暗渠排水の概念図

○ほ場外湧水処理(法面部小段、法面部等)



4-2 流末処理

○ 表面水・暗渠排水吐き口における斜面途中での放水は、後に侵食の原因となるため、吐口部は出来るだけ沢の下流部に、勾配はレベルに近づけ、必要に応じて水たたきの設置等検討すること。



流末水叩き部の設置事例

### 4-3 表面水処理

○ 区画内の水路は、土砂流出防止のため張芝水路を基本とする。

\* 水理計算上、流速的には土水路で問題ない場合でも、特に火山性土における土砂流亡を防止するため、張芝水路を基本とする。



張芝水路施工事例

### 4-4 取付道路

○ 取付道路路盤は砂利を基本とし、その旨を受益者に説明すること。

○ 取付道路路盤材の流出防止のため、横断トラフ・止水ゴム(横断方向)等の採用を検討すること。



取付道路横断トラフ設置事例